

# 微分積分学第一 (14)

山田光太郎

kotaro@math.titech.ac.jp

<http://www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2014/calc1/>

2014.07.23

# おしらせ

- 今回が最終回です．ご聴講ありがとうございました♡
- 7月30日に定期試験を行います．お忘れなく．
- 授業評価よろしく．現在 19/94．
- 後期「微分積分学第二 B」は山田の担当（ごめん）  
衛星配信はしないので，教室が変わります．

## ご意見

ご意見： 提出物の採点お疲れ様です ♡

コメント： ありがとうございます ♡♡

ご意見： 積分の変数変換に一目惚れしちゃった ♡

コメント： ひと目じゃなく，よく見て ♡

ご意見： この半年間で“変態”に対する感情が変わりました．後期も“変態”についてのご指導よろしくお願いします．最後に...単位ください!

コメント： 後期はたくさん変態さんが登場します．  
後半：講義資料 11, 最後から 10 個目のコメント．  
「いやです．勝手に取って行ってください。」

## 質問

Q: 心の傷はどうやったら癒えるのですか?

A: 山田のですか? 癒えません.

Q: 先生の夏休みが楽しくなるように祈ってます!

A: そんなもんねーよ!

Q: 「:=」と「=」はどう違うんでしょうか.

A: 講義ノート 21 ページ, 脚注 10.

「記号 “:=” は (ここでは) 左辺を右辺によって定義するという意味を表す .」

# ガンマ関数

## Theorem (例 13.2)

任意の正の数  $s$  に対して，次の広義積分は収束する：

$$\int_0^{\infty} x^{s-1} e^{-x} dx \quad (*)$$

## Definition (ガンマ関数)

$$\Gamma(s) := \int_0^{\infty} x^{s-1} e^{-x} dx \quad (s > 0).$$

## Example

$$\Gamma(1) = \int_0^{\infty} e^{-x} dx = 1.$$

# 広義積分の収束判定

## Fact (事実 13.5)

区間  $I$  上の, 連続関数  $f, g$  が

$$0 \leq f(x) \leq g(x) \quad (x \in I), \quad \text{かつ} \quad \int_I g(x) dx \quad \text{が収束する}$$

ならば, 広義積分

$$\int_I f(x) dx$$

は収束する.

## Remark

上の状況で  $f$  の広義積分が発散  $\Rightarrow g$  の広義積分も発散.

# 指数関数と多項式の関係

Lemma (補題 13.6, 系 13.7 (訂正あり))

任意の負でない実数  $p$  に対して

$$x^p \leq Me^x \quad (x \geq 0) \quad \text{ただし} \quad M = ([p] + 1)!.$$

Corollary

任意の実数  $p$  と正の実数  $a$  に対して  $\lim_{x \rightarrow +\infty} x^p e^{-ax} = 0$ .

指数関数は、多項式よりもずっと早く大きくなる。

Corollary

任意の実数  $p$  に対して  $\int_0^{\infty} x^p e^{-x} dx$  は収束する。

# ガンマ関数の定義可能性

## Theorem (例 13.2)

任意の正の数  $s$  に対して，次の広義積分は収束する：

$$\int_0^{\infty} x^{s-1} e^{-x} dx \quad (*)$$

- $s \geq 1$  のとき...
- $0 < s < 1$  のとき

$$\int_0^1 x^{s-1} e^{-x} dx \quad \text{は収束} \quad (\because x^{s-1} e^{-x} \leq x^{s-1} \quad (0 \leq x \leq 1))$$
$$\int_1^{\infty} x^{s-1} e^{-x} dx \quad \text{は収束} \quad (\because)$$



# ガンマ関数の性質

## Theorem

$$\Gamma(s+1) = s\Gamma(s)$$

## Proof.

正の数  $\varepsilon, M$  に対して

$$\begin{aligned}\int_{\varepsilon}^M x^s e^{-x} dx &= -[x^s e^{-x}]_{\varepsilon}^M + s \int_{\varepsilon}^M x^{s-1} e^{-x} dx \\ &= M^s e^{-M} - \varepsilon^s e^{-\varepsilon} + s \int_{\varepsilon}^M x^{s-1} e^{-x} dx.\end{aligned}$$

この式で  $\varepsilon \rightarrow +0, M \rightarrow +\infty$  とすればよい。 □

正の整数  $m$  に対して  $\Gamma(m) = (m-1)!$

# ガンマ関数とベータ関数

## Theorem (例 13.3)

任意の**正の数**  $p, q$  に対して, 次の広義積分は収束する:

$$\int_0^1 x^{p-1}(1-x)^q dx$$

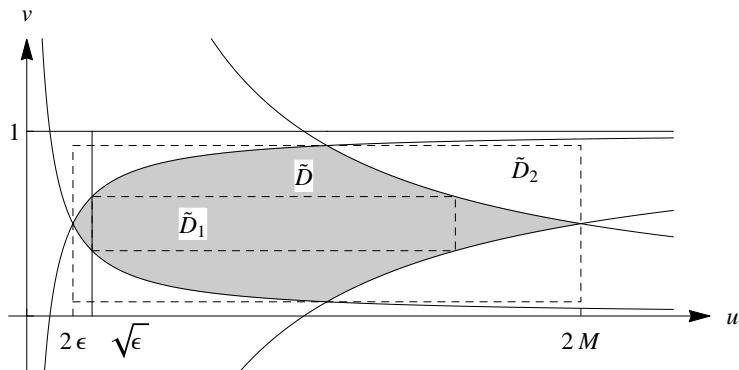
## Definition (ベータ関数)

$$B(p, q) := \int_0^1 x^{p-1}(1-x)^{q-1} dx$$

## Theorem (定理 14.5)

$$B(p, q) = \frac{\Gamma(p+q)}{\Gamma(p)\Gamma(q)}$$

## 定理 14.5 の証明の図



$$\tilde{D}_1 := \left[ \sqrt{\epsilon}, \frac{M}{1 - \sqrt{\epsilon}} \right] \times [\sqrt{\epsilon}, 1 - \sqrt{\epsilon}]$$

$$\tilde{D}_2 := [2\epsilon, 2M] \times \left[ \frac{\epsilon}{M + \epsilon}, \frac{M}{M + \epsilon} \right]$$

# ガウス積分

Theorem (定理 14.1)

$$\int_0^{\infty} e^{-x^2} dx = \frac{\sqrt{\pi}}{2}, \quad \int_{-\infty}^{\infty} e^{-x^2} dx = \sqrt{\pi}$$

Corollary (系 14.2)

$$\Gamma\left(\frac{1}{2}\right) = \sqrt{\pi}.$$

Corollary (系 14.3)

$$\int_{-\infty}^{\infty} \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} e^{-\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2}} dx = 1.$$

Gauss

ご聴講ありがとうございました



Good Luck!